

令和 4 年 11 月 11 日
水管理・国土保全局下水道部

カンボジア王国と下水道分野における 第 5 回日カ政府間会議及び技術セミナーを開催しました！ ～日カ両政府で「人材育成及び組織の強化」について議論～

国土交通省は、令和 4 年 10 月 25 日、カンボジア王国公共事業運輸省と締結した覚書に基づく「下水道分野における技術協力に関する第 5 回日カ政府間会議」及び「日カ技術セミナー」をカンボジア王国プノンペン都において開催しましたので概要をお知らせします。

➤ 第 5 回日カ政府間会議

日本国国土交通省、カンボジア王国公共事業運輸省参加のもと、第 1 回政府間会議以降の振返り及び「人材育成及び組織の強化」に関して議論しました。

- (1) 日 時：令和 4 年 10 月 25 日（火）9：00～13：00（カンボジア時間）
- (2) 主 催：国土交通省、公共事業運輸省
- (3) 場 所：カンボジア王国プノンペン都 ホテル会議室
- (4) 議 事：別紙参照
- (5) 出席者：公共事業運輸省（トイ・チャンコサル長官他）、環境省（カンボジア王国）、プノンペン都副都知事、バットアンバン州 DPWT、在カンボジア日本国大使館、国土交通省、JICA カンボジア事務所・専門家、北九州市、日本下水道事業団、日本大学森田教授（GCUS 東南アジア委員会座長）
カンボジア側約 30 名、日本側約 15 名

(6) 政府間会議結果概要

- ・国土交通省水管理・国土保全局下水道部の松原部長から、プノンペン都での水処理技術の導入や公共事業運輸省への長期専門家の派遣など、これまでの政府間会議の成果について述べました。
- ・公共事業運輸省トイ・チャンコサル長官から下水道事業における人材育成及び組織の強化は、専門性、決断力、財源などが必要であり、本会議で議論できたことにより、今後カンボジア王国の発展に大きく貢献すると述べられました。
- ・日本側は、下水道事業における国の役割、地方自治体における人材育成と制度体系、JS の組織強化のための支援制度、JICA における人材育成の研修スキーム及びプロジェクトの事例紹介について発表を行いました。
- ・カンボジア王国側は、中央政府と地方政府それぞれから、カンボジア王国の下水道の現状と人材育成や組織の強化を中心とする課題についての発表を行いました。
- ・公共事業運輸省ロ・バンナ長官から国土交通省と JICA に対して、JICA 専門家の派遣などを通じた人材育成や組織の強化について要請がありました。
- ・国土交通省水管理・国土保全局下水道部下水道国際・技術室の田嶋室長から、JICA 専門家の派遣など国土交通省の立場で、JICA と連携しながら派遣要請に応じられるように取り組むと共に、その他の人材育成と組織の強化についても、積極的に支援することを述べました。

➤ **日カ技術セミナー－産学官連携による下水道事業の強化－**

国土交通省が作成中である、カンボジア版推進工法基準（案）について、GCUS 東南アジア委員会から発表を行いました。また、今年度カンボジア王国で行っている下水道技術海外実証事業（WOW T0 JAPAN）とスパイリエンとシェムリアップのプレF/Sの発表等を行いました。

- (1) 日 時：令和4年10月25日（火）14：00～18：00（カンボジア時間）
- (2) 主 催：国土交通省、公共事業運輸省
- (3) 場 所：カンボジア王国プノンペン都 ホテル会議室（web 併用）
- (4) 議 事：別紙参照
- (5) 出席者：公共事業運輸省（ロ・バンナ長官他）、環境省（カンボジア王国）、地方州 DPWT、カンボジア王国の地方自治体、在カンボジア日本国大使館、国土交通省、JICA カンボジア事務所・専門家、北九州市、日本下水道事業団、日本大学森田教授（GCUS 東南アジア座長）、下水道グローバルセンター東南アジア委員会企業、本邦企業
カンボジア側約 50 名、日本側約 20 名（会場参加）
カンボジア側約 15 名、日本側約 35 名（web 参加）

(6) 技術セミナー結果概要

- ・公共事業運輸省ロ・バンナ長官から、カンボジア王国の下水道分野において、将来的に推進工法のニーズが高まること、水処理技術も今後、カンボジア王国に貢献する技術であることなど本発表技術について期待が述べられました。また、発表やディスカッションを通じて、多くの知識を得たことについて、お礼が述べられました。
- ・GCUS 東南アジア委員会からは、推進工法に関して、カンボジア版推進工法基準（案）、LC-C02 による管渠整備の環境影響評価、カンボジアにおける推進管の要求性能の3テーマについて発表がありました。
- ・日本下水道事業団からは、カンボジア王国のスパイリエンとシェムリアップのプレF/Sの内容について、発表がありました。
- ・本邦企業からは、カンボジア王国で実証事業を行っている水処理技術とカンボジア王国から発表要望があったポンプ技術について、発表を行いました。
- ・国土交通省水管理・国土保全局下水道部下水道国際・技術の田嶋室長から、本セミナーを通じて得た知見を活かし、カンボジア王国での下水道に関する基準化制定の進展やプレF/S 地域での早期下水道整備を実現させるために、引き続き積極的に協力していくことを伝えました。

＜問い合わせ先＞

水管理・国土保全局 下水道部 下水道企画課 下水道国際・技術室

下水道国際推進官 岩渕 光生、 国際展開推進係長 新田 和宏

TEL 03-5253-8111（内線 34142、34137） 03-5253-8803（直通）FAX 03-5253-1596



下水道分野における技術協力に関する第5回日本カンボジア政府間会議

日時 : 2022年10月25日 9:00-13:00(カンボジア時間)、11:00~15:00(日本時間)
 会場 : カンボジア王国プノンペン都 ホテル会議室
 参加者 : 公共事業運輸省、環境省、プノンペン都副都知事、バットンバン州 DPWT、
 在カンボジア日本国大使館、国土交通省、JICA カンボジア事務所・専門家、北九州市、
 日本下水道事業団、日本大学森田教授(GCUS 東南アジア委員会座長)
 ※カンボジア側約30名、日本側約15名
 テーマ : 人材育成及び組織の強化
 司会 : JICA 専門家 小松 海里

| 時間 (日本時間) | 題目 | 発表者 |
|---------------|------------------------------------|---|
| 10:30-11:00 | 受付 | |
| 11:00 - 11:20 | 開会挨拶及び参加者紹介 | |
| | カンボジア | 公共事業運輸省 長官 H.E. Tauch Chankosal |
| | 日本 | 国土交通省 水管理・国土保全局 下水道部 部長 松原 誠 |
| 11:20 - 11:25 | 記念品の贈呈 | |
| 11:25 - 11:30 | 写真撮影 | |
| 11:30 - 11:50 | 下水道事業における国の役割 | 国土交通省 水管理・国土保全局 下水道部 下水道企画課 下水道国際・技術室 係長 新田 和宏 |
| 11:50 - 12:10 | 地方自治体における人材育成と制度体系 | 北九州市 上下水道局 海外事業課 係長 平野 哲 |
| 12:10 - 12:30 | 組織強化のための支援体制 -JSの研修体制- | 日本下水道事業団 国際戦略室 調査役 若林 淳司 |
| 12:30 - 12:50 | JICAの協力プロジェクトによる人材育成及び制度強化 | 独立行政法人国際協力機構 JICA カンボジア事務所 下平 剛之 |
| 12:50 - 13:05 | 休憩 | |
| 13:05 - 13:25 | カンボジアにおける汚水処理の現状 | 公共事業運輸省 下水道総局 総局長 H.E. Sourn Phearith |
| 13:25 - 13:45 | バットンバン州における排水管理について | バットンバン州DPWT 副長官 Ms. Kem Sokuntheary |
| 13:45 - 14:05 | Water and Wastewater Laboratoryの提案 | Techo Sen Institute of Public Works and Transport Mr. CHAN Rathborey, Ph.D. |

| 時間 (日本時間) | 題目 | 発表者 |
|---------------|----------|--|
| 14:05 - 14:50 | ディスカッション | |
| 14:50 - 15:00 | 閉会挨拶 | |
| | カンボジア | 公共事業運輸省 長官 H.E. Dr. ROS Vanna |
| | 日本 | 国土交通省 水管理・国土保全局 下水道部 下水道企画課 下水道国際・技術室 室長 田嶋 淳 |

言語:クメール語及び日本語(逐次通訳)

資料:英語



下水道分野における日本カンボジア技術セミナー

日時 : 2022年10月25日 14:00-18:00(カンボジア時間)、16:00~20:00(日本時間)

会場 : カンボジア王国プノンペン都 ホテル会議室 (web 併用)

参加者 : 公共事業運輸省、環境省、地方州 DPWT、カンボジア王国の地方自治体、
在カンボジア日本国大使館、国土交通省、JICA カンボジア事務所・専門家、北九州市、
日本下水道事業団、日本大学森田教授(GCUS 東南アジア委員会座長)、
下水道グローバルセンター東南アジア委員会企業、本邦企業

※カンボジア側約 50 名、日本側約 20 名(会場参加)

カンボジア側約 15 名、日本側約 35 名(web 参加)

テーマ : 産学官連携による下水道事業の強化

司会 : 国土交通省 新田 和宏

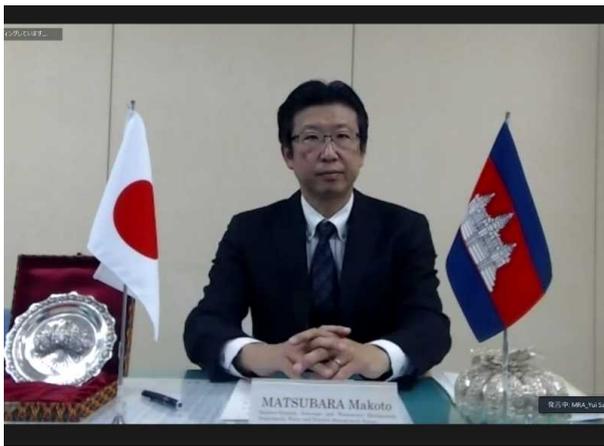
| 時間 (日本時間) | 題目 | 発表者 |
|--------------|--|--|
| 15:30-16:00 | 受付 | |
| 16:00 -16:15 | 開会挨拶及び参加者紹介 | |
| | カンボジア | 公共事業運輸省 長官 H.E. Dr. ROS Vanna |
| | 日本 | 国土交通省 水管理・国土保全局 下水道部 下水道企画課 下水道国際・技術室 室長 田嶋 淳 |
| 16:15 -16:25 | 写真撮影 | |
| 16:25 -17:50 | GCUS 東南アジア委員会による推進工法に係るプレゼンテーション | |
| | カンボジア版推進工法基準(案) | 株式会社日水コン 海外事業部 海外下水道部 副部長 中嶋 宜信 |
| | LC-CO2による管渠整備の環境影響評価 | 日本大学 生産工学部 土木工学科 環境工学研究室 教授 森田 弘昭 |
| | カンボジアにおける推進管の要求性能 | グローバルワークス株式会社 技術コンサルティング部 副部長 蛇口 至子 |
| | ディスカッション | |
| 17:50 -18:10 | 休憩 | |
| 18:10 -19:45 | 日本企業によるプレゼンテーション | |
| | 浸水対策用ポンプ“フラッドバスター” (Wow to Japan Project) | 株式会社石垣 ポンプ・ジェット事業部 事業推進部 事業企画課 主任 福森 健太郎 |
| | 神鋼環境ソリューション活動紹介 (Wow to Japan Project) | 神鋼環境ソリューション 環境エンジニアリング事業本部 水環境事業部 海外水処理室 担当部長 田路 明宏 |

| 時間 (日本時間) | 題目 | 発表者 |
|--------------|---|---|
| | シエムリアップとスバイリエンにおける 下水道整備計画のためのプレFS調査 | 日本下水道事業団 国際戦略室 調査役 若林 淳司 |
| | ディスカッション | |
| 19:45-19:50 | 記念品の贈呈 | |
| 19:50 -20:00 | 閉会挨拶 | |
| | カンボジア | 公共事業運輸省 長官 H.E. Dr. ROS Vanna |
| | 日本 | 国土交通省 水管理・国土保全局 下水道部 下水道企画課 下水道国際・技術室 室長 田嶋 淳 |

言語:クメール語及び日本語(逐次通訳)

資料:英語

第5回 日力政府間会議



松原下水道部長開会挨拶 (Web 参加)



田嶋下水道国際・技術室長閉会挨拶



記念品の贈呈



新田下水道国際展開推進係長発表



集合写真



政府間会議の様子

日カ技術セミナー



ロ・バンナ長官挨拶



田嶋室長挨拶



集合写真



技術セミナーの様子